

ディプロマ・ポリシー

CP5
被服に関する専門的な知識・技能を修得し、さらに、思考力・判断力・表現力を身につけた成果を論述、あるいは、表現するために、「卒業論文」「卒業制作」「卒業演習」を選択必修科目として配置する。

CP4
キャリアプランの実現に向けて、被服科学・染織文化・ファッションクリエイション・ファッションビジネスの4コースを設置し、専門分野の知識・技能について深く学ぶ。高度な専門知識・技能を実践的・体験的に学修し、様々な課題に対して応用できる能力を身につけるための専門科目を体系的に配置する。

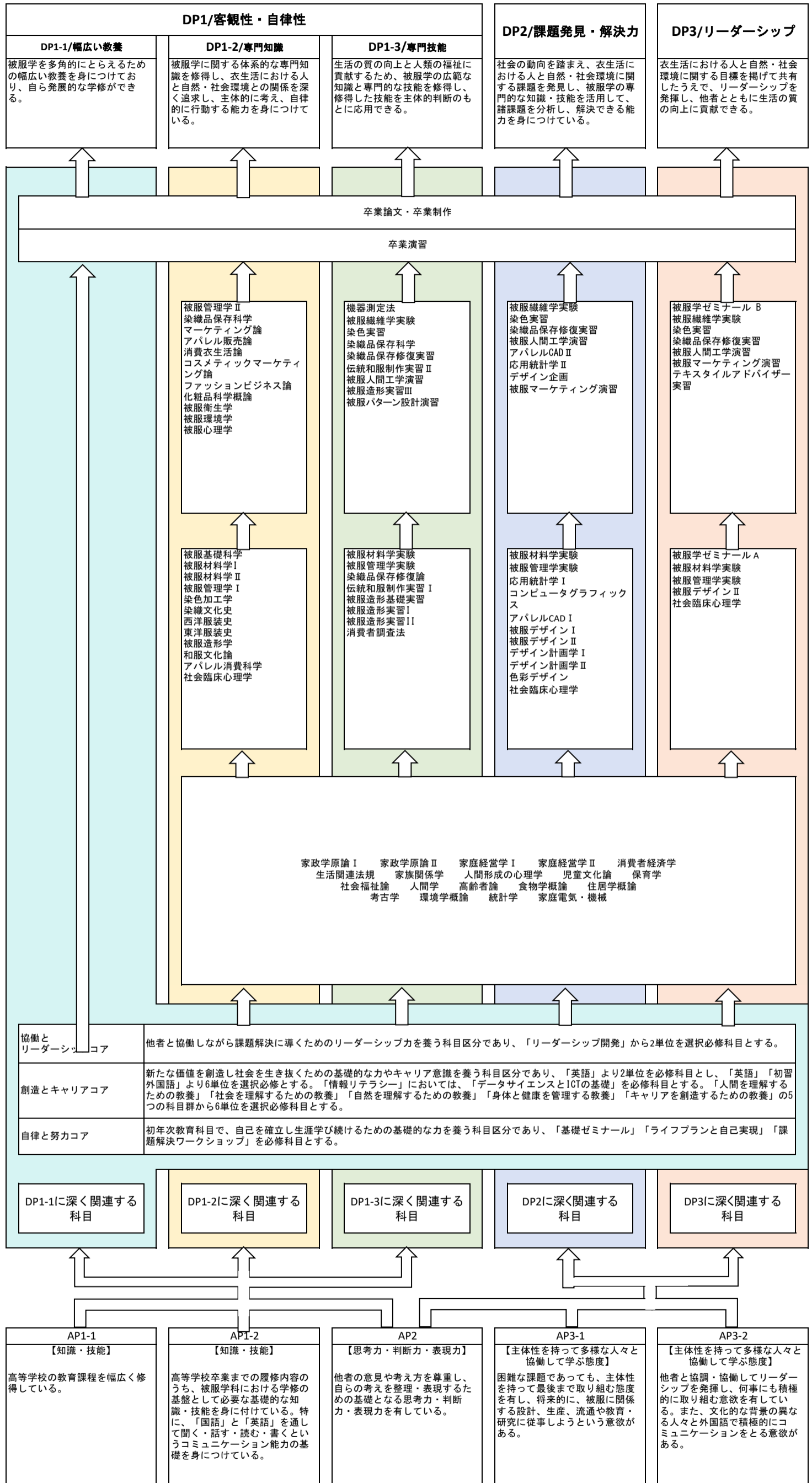
CP3
被服学に関する広範な知識・技能を修得するために、各科目の教育内容に応じて講義・演習・実験・実習を配置し、「被服材料学I」「被服管理学I」「染織文化史」「和服文化論」「被服造形学」「被服デザインI」「アパレル消費科学」を必修科目とする。ディプロマ・ポリシーに示した能力を身につけるため、少人数制による教員と学生間の双方向授業、グループディスカッション、ディベート、グループワーク等のアクティブ・ラーニングを重視した教育を行う。

CP2
家政学部共通科目では、家政学を学ぶうえで身につけておくべき基本的な知識と技能を修得するため、以下に教育課程を編成する。
・被服、食物、住居、児童、家庭経営の5領域の基本的知識を学び、それらを統合した人間のライフサイクルと福祉の視点から人間生活を理解するための科目を配置する。
・前述の5領域に関連または基礎となる社会科学・自然科学などの幅広い諸科学の視点と基本的知識を獲得するための科目を配置する。

CP1
学生を、ひとりの女性・ひとりの人間として自律できる人材、すなわち日々の生活を豊かに充実して生き、主体的に社会に参加・貢献して責任ある役割を果たす人材として育成するために設けられた「自律と努力コア」「創造とキャリアコア」「協働とリーダーシップ」の必修・選択必修科目を設置する。

カリキュラム・ポリシー

アドミッション・ポリシー



※各科目は「カリキュラム・マップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。